

ボウジンテックス

駐輪場用防滑仕様



JQA-2631(本社工場)
JQA-EM3548(本社工場)

(社) 日本塗料工業会登録		
登録番号	# 300T	M03027
	#5500N	M03018
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	
問い合わせ先	https://toryo.or.jp	

防滑性、耐摩耗性、耐久性



駐輪場はコンクリート、アスファルト、金属などの様々な床面に屋内外を問わず設置されていますが、人と自転車が共有する場所であるため安全性が優先されます。特に勾配のある箇所や降雨などで濡れた床面はスリップ転倒などの事故につながる可能性があります。

本仕様は防滑性とカラーリングによる分け方で、安全で快適なスペース作りに貢献します。

特長

F☆☆☆☆

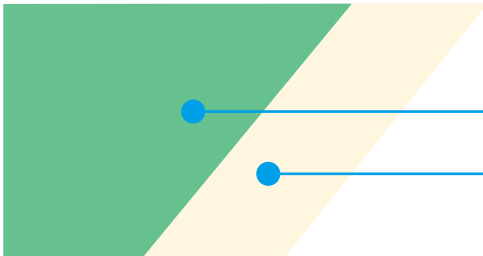
ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は
規制対象外である。

1. 防滑仕様で、人、自転車のスリップ事故を防ぎます。
2. 屋内、屋外ともに使用可能です。

塗装工程

平滑仕様・駐輪機の改修は、別途ご相談ください。

1. コンクリート面

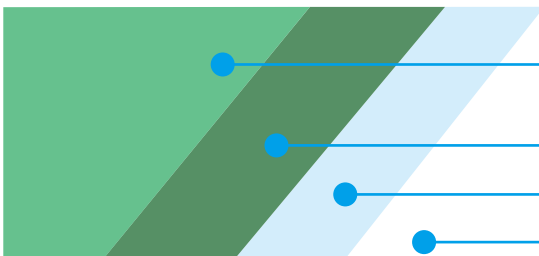


上塗り：水系ボウジンテックス #300T (2回塗り)
(防滑骨材既調合)

下塗り：水系ボウジンテックス エポキシシーラーⅡ

基 材：コンクリート面

2. アスファルト面



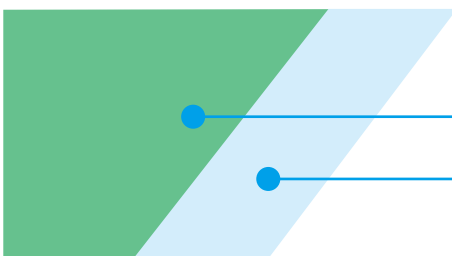
上塗り：水系ボウジンテックス #300T
(防滑骨材既調合)

中塗り：水系ボウジンテックス #300N
(防滑骨材既調合)

下塗り：水系ボウジンテックス シーラー

基 材：アスファルト面

3. 金属面 (縞鋼板等)



上塗り：ボウジンテックス #5500N (2回塗り)
(防滑骨材既調合)

下塗り：ハイエボン #1000

基 材：金属面

塗装仕様

■ コンクリート面

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	駐輪可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等で塗料が含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	水系ポウジンテックス エポキシシーラーⅡ 主剤7kg 硬化剤7kg	無希釈	ハケ ローラー	1 (~2)	0.12~0.16	88~117 (44~58)	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
上塗り	水系ポウジンテックス #300T 20kg	2~4% (希釈水)	リジガン ローラー	2	0.30~0.40	25~33	—	2h以上	—	24h以上

※ 塗分量に希釈水は含まれていません。塗分量は条件により増減します。
※ 施工気温が10℃以下の場合、乾燥不良を起こすことがありますので施工を避けてください。

■ アスファルト面(細面の場合)

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	駐輪可能
素地調整	新設の場合は2週間以上期間をとり、表面の油分をなくす。転圧が充分行われていることを確認する(簡易アスファルトの場合は、塗装後、アスファルトが持ち上がるので塗装を避ける)。アスファルトのくぼみに溜まった土砂を取り除くため、デッキブラシ等を併用して水洗する(油分がある場合は洗剤を使用する)。水洗後、自然乾燥する。									
下塗り	水系ポウジンテックス シーラー 15kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.20~0.30	50~75	—	—	2h以上	—
中塗り	水系ポウジンテックス #300N 20kg	1~3% (希釈水)	レーキ ローラー 併用	1	0.60~1.00	20~33	—	—	2h以上	—
上塗り	水系ポウジンテックス #300T 20kg	2~4% (希釈水)	リジガン ローラー	1	0.30~0.40	50~67	—	—	—	24h以上

※ 塗分量に希釈水は含まれていません。塗分量は条件により増減します。

■ 金属面

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	駐輪可能
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。その後、ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。									
下塗り	ハイエボン #1000 主剤16kg 硬化剤4kg	0~10% (専用シンナー)	ハケ ローラー	1	0.15~0.18	111~133	8h以内	—	16h以上 30日以内	—
上塗り	ポウジンテックス #5500N 16kg	0~10% (専用シンナー)	ハケ ローラー	2	0.30~0.40	20~27	—	2h以上	—	24h以上

※ 塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。

性能

試験項目	試験方法	結果	
		#300T	#5500N
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付500μm	2±1	4±1
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	2B	H
耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2,1000回転	75±10	35±10
耐水性	JIS K 5600-6-2に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水酸化カルシウム飽和水溶液に48時間浸せき	異常なし	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	白化	若干艶引け
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 50℃温水に48時間浸せき	白化	異常なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆	

荷姿

上塗り材

水系ポウジンテックス #300T 20 kg
ポウジンテックス #5500N 16 kg・4 kg

中塗り材

水系ポウジンテックス #300N 20 kg

下塗り材

水系ポウジンテックス シーラー 15 kg・4 kg
水系ポウジンテックス エポキシシーラーⅡ 14 kg・4 kg セット
(主剤7kg/硬化剤7kg) (主剤2kg/硬化剤2kg)
ハイエボン #1000 20 kg・5 kg セット
(主剤16kg/硬化剤4kg) (主剤4kg/硬化剤1kg)

希釈剤

ポウジンテックス #5500N シンナー 16 L・4 L
ハイエボン #1000 シンナー 16 L・4 L

注意事項

- 水系の床用塗料は、気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、乾燥不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- 溶剤系の床用塗料は、気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- モルタルコンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程充分に乾燥させてください。
- 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- 塗料缶を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
- 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
- タイヤの種類によっては、可塑剤が移行する場合があります。
- 使用前には充分攪拌してください。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。
- 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
- 主剤と硬化剤は別々に密栓し、冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
- 保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
- 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。
- 排水溝には捨てないでください。
- 静電気をきらう床には塗装しないでください。
- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。

【ポウジンテックス #5500N】

- 水を使うモルタル・コンクリート面への塗装は、耐アルカリ性が劣るため避けてください。また、屋外のコンクリート面も避けてください。
- アスファルト面の塗面積は、表面の粗密によりかなり増減します。
- 塗料が染み込んだウエスは自然発火のおそれがあります。使用したウエスは必ず水の入った容器に入れて処理してください。

【ハイエボン#1000】

- 旧塗膜がタール系の場合、ブリードが生じますので使用しないでください。

【水系ポウジンテックス シーラー】

- 水系ポウジンテックス シーラーのアスファルト面への塗面積・塗分量はアスファルト細面を基準としています。(粗面の場合は、約2倍の塗分量が必要です)
- 水系ポウジンテックス シーラーと上塗り塗料との混合は絶対に避けてください。(混合するとゲル化します)

【水系ポウジンテックス エポキシシーラーⅡ】

- 水系ポウジンテックス エポキシシーラーⅡは、可使時間を過ぎても増粘・ゲル化は起こしませんが、付着性が低下しますので、可使時間内に手際よく塗装してください。



水谷ペイント株式会社
大阪府淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・札幌・仙台
カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2607